

【様式５－１】

２０２０年度 京都ボランティアバンク補助事業
新しい組み合わせをつくる～コラボ活動助成～ 申請書

■申請団体について

団 体 名	代表者名 (印)	
団 体 所 在 地	〒 ー	
団 体 連 絡 先	TEL :	FAX :
	e-mail :	URL :
担 当 者 及 び 連 絡 先	氏名 :	TEL :
	住所 : 〒	
団 体 の プ ロ フ ィ ー ル	団体の結成年月日 (西暦) 年 月	
	構成人数 名 (男性 名・女性 名)	
	活動頻度・時間 年・月・週に 回、1回あたり約 時間	
	活動地域 (場所)	
	活動の対象者と活動内容	
	これまでの活動の実績	
他 の 助 成 の 申 請 状 況 (該当に○印)	1. 他の助成を申請中 (助成金の名称 :) 2. 他の助成は申請していない	

【様式５－１】

■この助成金で行う取組みについて

事業名	
協働する団体	
協働することの メ リ ッ ト	
取組みの目的 や目指すこと	
実施する理由 や 背 景	
具 体 的 な 取 組 み 内 容	

スケジュール	
期待される効果	

※予算書の内容と合致するように作成してください。
※取組みに関する資料で適したものがあれば、参考資料として添付してください。

【様式５－２】

2020年度 京都ボランティアバンク補助事業
新しい組み合わせをつくる～コラボ活動助成～ 予算書

グループ名：

代表者名：

【 収 入 】

(単位：円)

区 分	予 算 額	内 訳 等
ボランティアバンク補助金		
自己資金		
合 計		

【 支 出 】

(単位：円)

区 分	予 算 額	内 訳 等
諸 謝 金		
旅 費 交 通 費		
消 耗 品 費		
器 具 什 器 費		
印 刷 製 本 費		
通 信 運 搬 費		
会 議 費		
賃 借 料		
資 料 図 書 費		
合 計		

※収入額と支出額が合致するように作成してください。

※申請書の内容と合致するように作成してください。

※物品購入、業者発注等が含まれる場合は、必ず「見積書」及び「カタログ」を添付してください。

※活動経費の10%（1割）以上、自己資金を確保している必要があります。

【様式 5 - 1】

《記入要領》

2020年度 京都ボランティアバンク補助事業

新しい組み合わせをつくる～コラボ活動助成～ 申請書

■申請団体について

団 体 名	〇〇手話の会	代表者名	(印)
団 体 所 在 地	〒 ー		
団 体 連 絡 先	TEL :	e-mail :	
	FAX :	URL :	
担 当 者 及 び 連 絡 先	氏名 :	TEL :	
	住所 : 〒		
団 体 の プ ロ フ ィ ー ル	団体の結成年月日 (西暦) 年 月		
	構成人数 名 (男性 名・女性 名)		
	活動頻度・時間 年・月・週に 回、1回あたり約 時間		
	活動地域 (場所)		
	活動の対象者と活動内容		
	どんな人・どんな事を対象に、どんな活動を行っているかを具体的にお書きください。		
他 の 助 成 の 申 請 状 況 (該当に○印)	これまでの活動の実績		
	これまでの活動の中で、実践してきたこと・成し遂げたこと・成果があったことなどについてお書きください。		
他 の 助 成 の 申 請 状 況 (該当に○印)	1. 他の助成を申請中 (助成金の名称 :) 2. 他の助成は申請していない		

【様式 5 - 1】

■この助成金で行う取組みについて

事業名	手話と福祉を考える会	
協働する団体	〇〇高等学校、 ××会（当事者・家族会）	市町村社会福祉協議会（ボランティアセンター含む） のみの場合は対象となりません。
協働することの メリット	・〇〇手話の会（本会） これまでの活動において培った経験を地域へつなげることが出来ると共に、将来の担い手となりうる地域の学生の育成を行うことができる。 ・〇〇高等学校 地域に暮らす当事者・家族の思いに触れ、学校及び生徒の社会福祉への関心と理解を深め、共生の精神を養うことができる。 ・××会 当事者団体として、日頃から抱えている想いを活動団体へ伝え、双方向からの協力体制を構築する事ができる。	協働する団体名をお書きください。また、その団体と協働することのメリット・活かしたい強み・発揮される役割等についてお書きください。
取組みの目的 や目指すこと	当事者・家族がより地域で生活しやすくなる施策・取組みについて、活動者や生徒といった地域住民と共に学び、考えることで、より住み続けたい地域を目指す。	この取組みを実施する目的や、取組みをととして目指したいこと等をお書きください。
実施する理由 や背景	これまでの活動を通し、聴覚障がい者が地域の中でより生活・社会参加しやすくするためには、まだまだバリアが高い。そのバリアを取り除くべく、当事者及び将来地域を支える生徒と協力・連携を取っていきたい。	この取組みを実施する理由や、取組みに至る背景・地域事情等についてお書きください。
具 体 的 な 取 組 み 内 容	・生徒の障がい福祉に関するアンケートの実施 学校を通し、生徒の障がい福祉に関する知識・認識の実際を調査する。 ・手話と福祉を考える会 活動団体の取組み報告及び当事者団体の講演を通じ、〇〇地域の障がい福祉の実際を共有する。また、手話の学習会を実施し、手話という言葉を知ってもらう。 ・意見交流会 関係機関から情報提供・施策説明をしていただく。 活動費用は下記の通り。 アンケート作成費 5,000 円 会場費 7,000 円×2 回分（手話と福祉を考える会、意見交換会） 会議費 1000 円 行事保険費 10000 円	補助金を活用してどんなことを実施するかを具体的にお書きください。 （例）取り組む地域課題やニーズ 具体的なプログラムや進め方 対象とする地域や人や団体 協働する内容や役割分担

スケジュール	5/○ 第1回関係者ミーティング（助成申請についての整理等） 6/○ 第2回関係者ミーティング（〇〇高等学校へのアンケートについて等） 7/○ 〇〇高等学校へアンケートの依頼 8/○ 第3回関係者ミーティング（アンケート結果について、手話と福祉を考える会の案内について） 9/○ 手話と福祉を考える会実施 10/○ 第4回関係者ミーティング（意見交換会について） 11/○ 意見交換会 12/○ 全体の振り返り会
期待される効果	生徒という新しい視点から地域課題や関係団体の強みを引き出していただける。また、今までにない協力・連携相手と活動する事でより広範囲での k 情報共有及び課題解決を図ることが可能となる。 当事者・家族が社会生活をする上で地域住民の理解と協力が得られ、双方にとってより豊かな社旗の実現に向け取り組むことができる。

おおまかな取組みの進め方やスケジュールについてお書きください。

上記の取組みにチャレンジすることによって、住民や地域社会にとって、どんな良い効果や結果、発展が期待できるかをお書きください。

※予算書の内容と合致するように作成してください。

※取組みに関する資料で適したものがあれば、参考資料として添付してください。

【様式5-2】

《記入要領》

2020年度 京都ボランティアバンク補助事業

新しい組み合わせをつくる～コラボ活動助成～ 予算書

グループ名：〇〇手話の会

代表者名：×× ××

【収入】

(単位：円)

区分	予算額	内訳等
ボランティアバンク補助金	27,000 円	
自己資金	3,000 円	
合 計	30,000 円	

【支出】

(単位：円)

区分	予算額	内訳等
諸 謝 金		
旅 費 交 通 費		
消 耗 品 費		
器 具 什 器 費		
印 刷 製 本 費	5,000 円	アンケート作成費 5000 円
通 信 運 搬 費		
会 議 費	1,000 円	
賃 借 料	14,000 円	手話と福祉を考える会会場費 7000 円 意見交換会会場費 7000 円
資 料 図 書 費		
保 険 費	10,000 円	福祉行事保険費
合 計	30,000 円	

【様式3-1】「補助金を活用して実施する活動内容」に記載した内容と合致させ、それぞれの費用が「何に」「いくら」使うのかを詳しく記載ください。
内訳に記載した合計が各区分の予算額と一致しているかご確認ください。

一致させること

※収入額と支出額が合致するように作成してください。

※申請書の内容と合致するように作成してください。

※物品購入、業者発注等が含まれる場合は、必ず「見積書」及び「カタログ」を添付してください。

※活動経費の10%（1割）以上、自己資金を確保していることが必要です。